



市報

1月

発行所 佐賀県鳥栖市役所 1部5円

郵指35〒12月21日第3種郵便物認可

毎月1回10日発行

(昭和42年1月10日発行 第140号)



田代中学校 田代大官町
(高尾義実校長 531名)

田代中の体操クラブは本校の中で一番若いクラブである。入部したばかりのころは、先輩のされるマット運動などを見て、補助してもらいながらまねをするだけだった。しかし夏の中体連までには

どうやら規定の種目もできるようになった。中体連は毎年夏に開かれ、種目は床運動、平均台、とび箱の3種目。

本校の体育祭や文化祭などでは、創作ダンスなども見てもらった。また昨年の2月から自由種目で行なわれる新人戦も開かれるようになり、私たちは第1回目に優勝できた。その時の感激は今でも忘れることができない。

昨年の中体連でも優勝することができた。この二重の喜びは、3年間のうちでもっとも思い出に残ることである。

体操部部长 3年 原 美代子

住民実態調査終わる

12月1日現在で実施いたしました初の住民実態調査は、みなさまのご協力により無事終了いたしました。この結果、市民の実態がより正確になることと思います。今後もみなさまのご協力をお願いいたします。とくに転入、転出のほか家族に異動がありましたときは、国民健康保険や国民年金の方の届けをお忘れなくお願いいたします。

育英資金奨学生を募集

この春高校進学希望者で市育英資金の奨学生になりたい人は、各中学校長へ申し込んでください。くわしいことは中学校が教育委員へどうぞ

市民の動き (12月1日現在)

総数	人口		世帯数
	男	女	
(+55) 45,279	(+11) 21,692	(+44) 23,587	(+37) 10,163

上段は前月との比較

正月特集 座談会「鳥栖市をもっと住みよく」

1月15日は成人式 中央公民館で午前9時半から
昭和21年1月16日～22年1月15日生まれの方はどうぞ

新春
座談会

鳥栖市をもっと住みよく

市発足以来、新進工業地帯として輝かしい道を歩みつづけている鳥栖市ですがより充実した町へ成長するには、いろいろの課題が残されております。本紙では12月23日、市長室に次代をになう若いか

たがたにお集まりいただき、鳥栖市発展のビジョンを話し合ってもらいました。若い人の力強い発言をここに収録して市民のみなさんへ新春の贈り物といたします。



司会 きょうは若い市民のみなさんにお集りねがって「鳥栖市をもっと住みよくしよう」というテーマで安原市長といろいろ話し合

頼もしい鳥栖の未来

よい立地条件と強い経済力

座談会のもよう
(市長室で)

いをしていただくと思うのですがまず、市長が持っていらっしゃる市の発展策や施策を聞きたいと思えます。市長さんどうぞ。

市長 鳥栖市は内陸工業地帯として発展しようと、昭和39年ごろまで工場誘致に力を注いでいたわけですが、工場誘致も財政上には一利一害ありまして、40年度からは、こちらに進出しようという企業にたいしてはできる限りの援助を惜しみませんが、莫大な資金をつぎこんでまで誘致運動はしておりません。そして市の体制建直しと今まで等閑に付されていた問題に取り組んで行こうと考えているわけでございます。

幸い国や県の施策がこれとマッチしまして、九州縦貫自動車道が本市を通過することになり、その上インターチェンジも市内にできることになっています。それと長崎と別府を

結ぶ西九州横断道も鳥栖を通りますまた長崎本線の複線化、電化が43年10月までに完成する、こういうことを考え合わせますと、鳥栖市は九州内の交通の中心地としてますます格を上げることになりますね。

強みは豊富な工業用水

それから鳥栖の強みは工業用水が豊富だということです。安楽寺に県の手で東部工業用水の第1次工事が40年度に完成し、毎日5万トンの工業用水を給水できるようになっておりますし、第2次工事でさらに1日5万トンの給水ができることになっております。このような立地条件のよきに加えて必要なのが市内の道路整備でございます。みなさんご存知のように市内で自動車がスムーズに走れる道路といえば国道3号線と34号線、それに2、3本の県道がある

だけで、市道では自動車もロクロク走れない状態です。そこで都市

計画街路として次のような計画を持っているわけです。

自動車が楽に走る市道へ

まず酒井西から真木を通過して、久留米に通ずる道路に接するいわゆる酒井～真木線。今泉町の下から藤木町の地下道を改修して大正町を抜け34号線に出るいわゆる今泉～田代線。飯田を起点に専売公社裏、新市庁舎前を通過して久留米～甘木線に接する路線。鳥栖駅～東町～秋葉町を結ぶ路線。このような幹線道路を3、4年中に完成したいと思っています。それから教育問題があります。来年度あたりから統合中学、校舎の改築、コンクリート化等も具体的に検討するつもりです。

みなさんからよくいわれることですが、市内には文化的な施設がありませんですね。図書館、市民会館な



安原 市長

どの施設についても真剣に考える時期にきていると思っております。

住宅はコンクリート建を

また鳥栖市では人口がふえていますので、どうしても住宅が不足勝ちですね。住宅問題も大事なことでありますが、県内で公営住宅がもっとも多く建設されているのは鳥栖市でありまして、昭和25年以來約1,000戸以上の公営住宅が建てられています。今までの住宅増は世帯分離によるものが多かったわけですが、今後は他市から鳥栖へ移住してくる人とか工場へ通う人の住宅がふえるものと思われます。今後の住宅は5階建てぐらいの鉄筋コンクリートにしたいですね。

以上のように、わたしが市長になりましたから2年間は地ならしの時期、これからは、今まで等閑に付されていた問題を手がけて行こうと考えているわけでございます。

青少年が夢持てる町へ

全国で問題となっていますのは農村と青少年問題であります。鳥栖では農業基盤の整備に力を入れ、耕地の区画整理、土地改良を進めているわけでございます。昭和45年の時点では全耕地約2000町歩の65%~70%は耕地整備が完了することになっているのでございます。これが完成

すれば農業の近代化も機械化も本格的に進められ、工業や他市へ流れる農家の青年團もある程度くいとめることができようかと思うわけでございます。

青少年の問題については、いろいろの施設を作るだけでなく、青少年が希望を抱けるような町を作ることが大事ですね。青少年が就職しようと思えばすぐに就職できるような町。青少年が何か希望を抱けば、地元でそれが適えられるような社会、そんな社会を作るには、県や国の施策もさることながら、市民の協力が必要だと思っております。

誇れる市民所得の高さ

県内7市のうち市民が納めている税金の額のいちばん多いのは鳥栖市です。予算のうち30%~40%を税金でまかなっている市が多いのですが鳥栖市は50%を税金でまかなっており、財政力は非常に豊かだといえるわけですね。また県民1人当たりの年間所得は39年で約15万円なのですが、鳥栖は26万円です。県下第2位となっています。諸富町が県内最高で35万円ですが、ここはある大きな工場とノリ養殖があるせいです。鳥栖ではそれほど大きな税金を納めている工場はないにもかかわらず、1人あたりの所得が高いということは市民の経済力の強さだと思っております。

一面、生活保護世帯もたいへん少ないんですね。全国平均では1,000世帯中18世帯、県平均では同じく25世帯が保護世帯ですが、鳥栖では1,000世帯中10世帯しかないわけですから以上のようなわけで、鳥栖市の未

来は、立地条件のよさと市民の経済力の強さが相まってたいへんのもしいものがあります。しかし市の発展は全市民が協力しなければできないこととございまして、とくに物事を卒直、素直にみる若い人々の協力がなければできないこととありまして、皆さんのご協力を期待するのでございます。

司会 ただいま市長から、九州における鳥栖市の位置の優位性、市民の経済力の強さなどお話しがありました。この話に関連して日ごろ皆さんが考えていらっしゃることを出していただきたいと思っております。まず青年会議所の松田さんからどうぞ。

青年会議所でアンケート

松田 青年会議所では、明るい町づくりにも少しもお役にたちたいと昨年11月に「社会開発アンケート」を作った。約600人の市民のかたに配り、いま集計を進めているわけです。



松田淑朗さん

明るい鳥栖市を作るにはどういう問題から取り組んだらいいのか148の問題を作り〇×式で回答をしてもらっています。

市長 回収がたいへんでしょう。

松田 600人といいましても、忙しい人とかいろんな事情の人にアンケートが届いておりましたのでなかなかむずかしいですね。この席からも市民のみなさんのご協力をお願いしたいと思っております。

横尾 現在約80%の回収ができております。

下岸 青年会議所はどういう人たちで作ってあるのですか。

松田 20才から40才までの中小企業の経営に参加している人ということになっておりまして、日本青年会議所のもとに各地に会議所がござい

座談会にご出席のみなさん

鳥栖青年会議所

松田淑朗さん (35才・電器卸商)

横尾英彦さん (31才・米穀商)

鳥栖連合青年団

酒井瑞夫さん (27才・基里農務)

佐藤咲子さん (23才・久光製薬)

鳥栖地区学生会

下岸義公さん (24才・九大4年)

梁井純輔さん (23才・九大4年)

議ことしの成人代表

古賀都子さん (20才・鳥工高事務室)

沢崎まゆみさん (20才・家4)

議市長 安原 謙市

議司会 稲益和則 (広報統計係長)

ます。鳥栖は約40人の会員がおります。われわれは小さい事業ながらもそれぞれ責任を負わされている者ばかりですから、事業をりつばに仕上げるのが社会的責任を果たすことだと思っています。ロータリークラブとかライオンズクラブというのは社会奉仕を主目的とする団体ですが青年会議所は、事業を通して地域社会に貢献するための、人格養成あるいは自分自身の勉強のための団体であります。

社会教育の充実望む

司会 11月号のとす市報でもちょっと紹介しましたが、学生会と青年団が手を取り合って地域社会の発展に尽そうというので、青年協議会を結成されたようですが、青年団長の酒井さん何か市長にお願いしたいとかまたは何か感じていらっしゃることはございませんか。

酒井 現在、鳥栖市には7,100名の青年がいて、そのうち勤労青年は4,000人ほどいるわけです。これら



酒井靖夫さん

の青年が青年団とか学生会などの団体に組織されているわけですが、団体活動をする場所がないですね。青年団は市民集会所や中央公民館を使わせてもらっていますが、夜など当直の人に迷惑をかけるとか時間の制約などがありなかなか十分な活動ができません。青年たちが気軽に集まり自由に使える集会所が欲しいと思います。

それと鳥栖市を住みよくするには住宅とか水道とか道路とか市政上の環境整備も必要ですが、何よりも人間関係が明るくなければならないと思います。その面の指導をもっと強くするために社会教育主事とか公民館主事などを置いてもらいたいと思います。

会合時刻などくふうして

市長 市内には集会の場所が少ないですね。現在ほとんどの青年がサラリーマンになっていますから、会合をしようとしても時間どおりに集まらないというような悩みもあると思いますが、その辺のところはもっとくふうして秘密な計画をたてれば、現在の中央公民館または30ぐらいある公民分館も十分利用できると思います。また新市庁舎には、400人はいる大会議室をはじめ10ぐらいの会議室を計画しておりますから昼間の会合でしたら、どしどしご利用いただけるようになりますよ。

社会教育主事ですが、現在6名の社会教育係がおります。少し各団体と連絡を密にしてやれば、もっとうまく行くと思います。また社会教育の仕事というのは、ほんとうに情熱を持った人でないとやれない仕事なんです。しかし今の市職員の中から適任者を探すのは非常に困難なんです。主事を置けばすべて解決することではありませんし、みなさんの協力でその点を補ってもらいたいと思います。

酒井 わたしも肩書を持った人が欲しいというのじゃありません。市長さんは経費の節減を打ち出しておりますので、今の社会教育の人たちも研修会などにあまり出席していないようなんですよ。やる気のある人にはもっと勉強させ、またやる気を起こさせるように、研修会などにはどしどし、出してもらいたいわけです。

仕事への情熱と意欲を

市長 県あたりでやる研修会ですが、これがたいい温泉とか観光地で形にはまったことしかやっていないんですよ。そんなところへ漫然と行って、ハイ講習受けてきましたでは何にもならない。研修を受ける前に本人が、ひとつ今度はこういうことを勉強してやろうという意欲を持って欲しいですね。



下岸義公さん

たしかに旅費は節約していますよ。しかし5人出席してよいかと5人全部出席しなければ勉強にならないかというそうではない。5人のうち1人が勉強してきたら、ほかの人に教える努力も必要です。また研修会の講師が書いた本が100円か200円で手にはいるんですからそれで勉強もできるわけです。自分の意欲や情熱の足りなさは棚に上げて、ヤレ旅費を削るからとか、人間をへらすからとかいいわけばかりしては単独です。この辺のところは市民のみみなさんのバックアップで職員の意欲を盛り立ててください。

それから経費のことですが、もともと予算というものは、これだけの支出が必要だから、それでは収入の方をどうすると、はいつてくる金の方を調整するのがほんとうなんです。ところが今の法律にしばられている市とか県の実情は、支出の方を加減しなければならぬんです。国の場合は、これだけの金が必要だから税金をどれだけと決め、なお足りなければ国債を発行して補えるんですがね。

商工業者は勉強せよ

松田 必要な金はやはり必要なわけですが、市の場合もっと収入をよくするのは、よりよき農業政策でありよりよき商工政策だと思うわけです。わたしは長崎、佐賀、福岡各県にわたる仕事をしているのですがよそを見て痛切に感じるのは、鳥栖の商工業者ほど遅れている者はないんじゃないかということです。よその町では10年たつとたいい変わっているんですが、鳥栖は全然変わりません。これはやはり地元商工業者の勉強不足と、そして市政にもそ

の責任の一端があるんじゃないかと思うわけです。両者一体となって何らかの啓蒙運動を起こして、この遅れを取り戻すことが先ほどの市の収入の増大に結びつく唯一の道だと思います。

県内ではたいへんすばらしい、期待の持てる市であるといわれておりますが、これが福岡県の鳥栖市と考えてみたらどうでしょう。まだまだ遅れているんじゃないでしょうか。

市長 10年前とちっとも変わらないというお話ですが、わたしはそうは思いませんね。約11年前でしたか生活協同組合の協栄会ができたというときです。地元の商店の人たちから、協栄会ができると周辺の商店は倒産の浮目をみるから、許可しないでくれと県の方へ強硬な申し入れがありましたよ。しかし今ではどうでしょうか。協栄会を中心にひとつの商店街が形成され、協栄会が刺激となって周辺の商店でも、できるだけ安い値段で売っているようになってますね。こういうように物価の面をとりあげても10年前とは違った要素が出てきていると思いますよ。

ぜひ市立図書館を

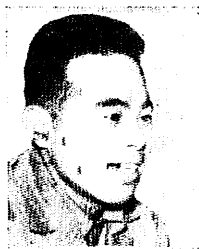
下岸 図書館建設は鳥栖にとって重要なことではないかと思えます教育委員会にある図書室は形だけで委員会の物置きのようになっていますし、職員が仕事をしてありますので、自由に本を読めるような雰囲気ではありません。聞くところによると、警察が移転するそうですが、あの建物を図書館に転用したらどうでしょうか。図書館だけでなく各団体の事務所なども置けると思えますが。

それから、ぼくたちは今鳥栖市はたしかに発展途上にあるんだと強く感じています。ところが市の発展のテンポにたいして市民が付いていない、傍観しているだけのようで、自覚が足りないように思うんです。ですから市でもPRにもっと力を入れてもらいたいです。また市長

さんもただ大過なく任期を終えるというだけでなく、鳥栖市百年の大計にたった政治をお願いいたします。

それから学生会の資金のことですが、学生会は昨年発足したばかりでファイトがありますから、足りない金は出し合ってもやっているわけです。ところが、来年になりますと前から引継いだという気持がありますから、今のような犠牲的な気持は少ないと思います。青年団には16万円の補助が出ているということですから、学生会にもその何分の一かです。ですからお願いしたいと思えます。

他力本願ではダメ



横尾英彦さん

市長 下岸君には約束してはいるが、12月の議会に出すのを忘れていてすまなかった。しかし、学生会にしろ市から補助をしてもらわなかったのがファイトをわき立たせる原因になったんじゃないかと思えますよ。現在、各団体に年間約400万円の補助金を出しているのですが、これは廃止しようと考えているんです。しかしいろいろ抵抗があって急にそうもできないのですが、とにかく他力本願ではいけないですよ。

ところで、市がいろんな品物を買う場合、同じ品物でありながら久留米の商人の見積りの方が安いんですね。ぼくは商工会議所の役員などに話すのですが、こんなことではだんだん久留米の方にお得意をとられてしまいますよ。同じ品物なら鳥栖の商人も久留米に負けない安い値段で売れるはずなんですがね。どうもそこらの研究が足りないようですね。

横尾 市長さん、ある面ではそういう風に突き放されてもいいんですが、一方では徹底的に引張って行く

という気持を持ってもらいたいです。

駅前広場ができ上がりますと、専売公社とか警察というのは障害物になるだろうと思います。駅前から警察署までは何とかして商店街に譲ってもらいたいですから。それに、市庁舎跡も商店街に売られるそうですが、思い切って他県の人に売った方が、市内の商工業者の刺激になってよいと思うのですよ。叱られるかもしれませんが(笑)

本通町通りの拡幅

市長 庁舎跡については、あちこちから問い合わせがきていますが、どういう風に折り合いますか。

専売公社のことですが、昨年、道路から約10mはいったところまで払い下げてくれと申し入れたのですが、公社ではあそこに病院を建てるからと断ったんです。

それから本通町通りの都市計画を県の方でいろいろ検討してもらっているんですが、早ければ来年度からでも15m道路に広げることを願っています。

下岸 市営の無料駐車場ぐらいは



古賀都子さん

設けないといけないんじゃないでしょうか。市長 市で駐車場が作ればこれに越したことはないが、その前に車を買うとき、各人が車庫は確保しなけりやね(笑)

下岸 そういうこともあります。商店街でもできますと、買物にくる人の駐車の問題がありますし。

松田 いまでは商店街を作る場合駐車場は一つの課題になっていますね。

商業高校新設に努力

古賀 商業高校ができるというこ



佐藤咲子さん

市長 昨年から鳥栖と基山と中原と北茂安で建設期成同盟会を作って県に働きかけているのですが、県の腰が重くてね(笑い)。それというのも昭和44年ごろになると高校生の数がへるから先生の整理をしなくちゃいけない。いま商業高校を新設しておいては整理のとき困る。それよりも整理しなきゃいけない時点で、商業高校を独立させたら、10人ぐらいの先生が救われるのではないかと県ではいうんですよ。

われわれはね、日本のように1学級に50人も生徒を詰め込んでいるところはないから、先生の整理を考えるより、学級の生徒数をせめて40人ぐらいにへらしたらどうか。そうすれば先生は余るより足りなくなるくらいだね。

しかも、現在の鳥栖高校の商業科を出ても、会社や工場が普通科卒業と同じ取り扱いしかしてくれないんですよ。商業科といっても実習をやる設備もないわけですから無理もないんです。これじゃ生徒が可愛想ですよ。何とか早く商業高校として独立させるよう努力しています。来年は商業科がもう1クラスふえて6学級になり、普通科と家庭科を合わせた学級数と同じになりますね。

下岸 藤木の方は発展が遅れているように思いますが、何か発展の計画はありませんか。

藤木地区は 快適な住宅地へ

市長 2つあるんです。1つは長崎線の複線化によって、藤木地下道をもっと深く広くして、車道と歩道を区別し、バスも自由に通れるよう

とを聞きましたけれど、今の段階ではどうなっているのでしょうか。

にする。ここから真南へ下って今泉町の下の方に6車線の道路が上ってきていますから、これについで鳥栖と久留米をつなぐ道路にしたいと考えています。

もう1つは酒井西から真木の方へ15車線の道路計画があるんです。本年度1,100万円の用地買収をしましたが、44年ごろ完成の予定です。電化によって汽車のばい煙もなくなっていますから、藤木、今泉方面は快適な住宅地になりますよ。

佐藤 人間関係に関連しますが、青年団では団員がへる傾向にあります。これはやはり阪神方面へ就職する人がいるということから、人と人の結びつきが薄れて行くことでもあるわけですから、工場誘致などはどしどし進めて、地元で就職できるようにしてもらいたいと思います。

市長 現在の工場は機械化が進んでいて、せっかく進出してきても従業員はわずかでよいんですね。しかし幸いなことに鳥栖市は県内7市で県外就職はいちばん少ないですね。

指導力ある実験農場を

横尾 実験農場ですが、中途はんばなような気がします。もっと農民の指導ができるように充実してもらいたいですね。

市長 いま市内の耕地が非常にへっていますね。ところによっては1戸4反〜5反になっていまして、これでは専業農家といえないし、兼業についても問題があります。このような状態ですから鳥栖市の農業は転換期にあると思うのです。このような時点で農場が1つの役割を果せるようにしたいと考えています。

アザレア(西洋つつじ)は一応成功して、九州では鳥栖市がいちばん多く出荷をしていますね。

横尾 しかしアザレアでは農家の人は食べていけないと思うのです。やはり米、みかん、酪農が農業の中心なので、その面の指導ができる農場にさせていただきたいと思うのです。それと現在ほとんどの農家

が自動耕運機などの機械を持っていますが、果して減価償却ができていのでしょうか。こういう経営とか技術指導を実験農場が指導してもらいたいと思うのです。

酒井 わたしは農協に勤めていますが、弁解するわけではありませんが、3反、5反という農家までが耕運機などを買うのは、人に頼んだ場合、いつ耕してもらえるかわからないという気持のうえのあせりがあるのですよ。だから基盤整備も、できればもっと早く終えていただければこういう問題も解決するんじゃないでしょうか。

市長 それと今の農業機械は農家のオモチャなんですね。機械を買ってやるから農業をやってくれと、息子たちを家にとどめるための手段なんですね。

梁井 今の子どもは遊び場がなく



梁井純輔さん

て可愛想ですね。野球をするにしても小中学校のグラウンドはクラブ活動に使っているし、市立のグラウンドとかプールもないし。

税金嫌悪症の日本人

市長 わたしも都市計画の問題として、考えなくてはいけないと思っています。ところで日本人ほど税金に敏感な国民はいないようですね。スウェーデンなどでも非常に高い税金をとられるそうですよ。そのかわり病院や保育所や学校も無料というように社会保障が完備しているわけです。ところが日本人となると、あれもせよこれもせよと、いうのはいうが、税金のことにになると安くせよというんですね。このような国民性を改造しない限り福祉国家の実現など難しいですよ。

さっきいわれたグラウンドなども、

国民健康保険の保険証は1月から新しいもの(灰色)に変わっています
まだ保険証の交換がすすんでいない方は市民課で早く交換してください

市民が集り安いようなところを買うとなると今では坪5,000円以下の土地はありませんね。

酒井 わたしたちは税金は高くてもよいと思ってるんですよ。市は金がなくて苦労しているというのに、来年は固定資産税を下げるというっていらっしゃるのはふに落ちないんですが(笑)

市長 それは議会が決断したもんだから(笑)

下岸 ≪黒い霧≫問題などがあって、国民全体に政治家への不信感があるものだから、税金もどう使われているのかわからん、という気持があるんですよ。政治家が信頼される人になってもらわないと。

市長 それに日本人が税金を嫌悪するのは歴史的な背景もあるんですよ。藩制時代に重税をとられ、苦役は課せられ、貧しい生活をさせられたうらみが今日まで伝わっているのですよ。

「家庭の日」はもっとPRを

司会 「家庭の日」というのが叫ばれているのですが、沢崎さんはご存知ですか。

沢崎 はい、知ってはいますが、市報なんかでもっと具体的にPRし

てほしいですね。

酒井 佐賀県では第1日曜を家庭の日としているのですが、市内の工場とか商店全部が

できるだけその日に休めるように持っていき

たいと思うわけです。それには市役所だけが、声を大にしても駄目で、いろんな団体、会社などにも働きかけて、運動を進めなくてはいけないと思うのです。こういう点でも社会教育というのは必要ですね。

司会 市役所の啓蒙活動もさることながら、学生会、青年団、青年会議所などがお集まりいただいたこの機会に、足並みそろえてやろうというふうになるとよいと思うのですが

古賀 第1日曜は家庭の日などといわなくても、個人個人が家庭を大切にするよう自覚することが第一じゃないでしょうか。

1 たす 1 は 3 の力

下岸 その個人の自覚を促すため



沢崎まゆみさん

に「家庭の日」というのが叫ばれていると思うんですよ。それでそんな運動を若い者が進めていこうということになれば、わたしたち学生会とか青年団とか青年会議所などがもっと力を合わせてやらなければならないと思います。1たす1は3の力になるんですから(笑)

沢崎 わたしたちは青年団などがあるのは知っていますが、何をやっているのか内容までは知らないんですよ。もっと活動内容を知らせてもらおうと協力しようという気にもなると思います。

松田 下岸さんが先程おっしゃったように、この集まりを機会におたがいの連絡を密にして地域社会の発展のために力を合わせてやるべきですね。青年会議所は、商工会館の1階にライオンズクラブといっしょに事務所を持っておりますから、何か連絡のあるときは、いつでも気軽においでください。専任の事務員もおります。

司会 松田さんや下岸さんから、おたがいに手を取りあって鳥栖市発展のために尽そうという声が出ましたところで、きょうの座談会を終わりたいと思います。ありがとうございました。



◇ 12月定例市議会から ◇ ポリ容器購入費を補助

12月10日から同20日まで開かれた定例市議会で、一般会計予算1,168万円が補正され、同予算総額は市発足以来最大の8億2,647万円になったおもな内容は次のとおり。

コンクリート製のゴミ容器を早くポリ容器に切替えるため第1次年度分として16万5,000円を補正し、京町、東町、秋葉町、本通町、本町、大正町の約500世帯のポリ容器購入の補助にあてる。また土地改良事業として本年度は儀徳、下野、三島地区のは場整備を9,183万円で行っているが、市負担金1,676万6,000円

のうち約2割に当たる336万6,000円を計上した。農免農道については285万5,000円で市道安良～下野線から沼川までの用地7,139平方メートルを買収し今年度分のは場整備工事にあわせて一部着工する。

前年を上回る土木費

道路補修用砕石購入費200万円。下鳥栖～古野線ほか2路線の拡幅用地買収費と工事費135万2,000円。幡崎～長の原線ほか7路線の道路舗装費100万円。丁の坪～車路線都市計画事業費250万円を補正した。これで土木費は昨年度の総額1,959万1,0

00円を約400万円上回る2,357万円となった。

以上の一般会計補正予算の歳入財源としては①市税1,496万7,000円②財産収入197万9,000円③繰入金200万円④その他108万3,000円であるが事業費の減に伴う起債などの歳入減が834万8,000円あるため差引1,168万1,000円となる。

砕石場1,200万円の売上

砕石場は、売上が順調な伸びを示し、11月現在約1,200万円の売上げがあり、今回歳入500万円を補正した。歳出では昭和34年から土地、建物20万円を始めトロンメール購入、人件費等212万5,000円を一般会計から繰入れていたため、今回同額を一般会計へ繰出した。

市政功労者を表彰

市は1月4日、52人2団体を市政功労者として表彰した。この表彰は表彰条例に基づくもので、去る昭和39年、市制10周年記念に当たり135名を表彰したのについて2回目。被表彰者は次のとおり（敬称略）

【市会議員在職10年以上で特に功労があった人】高口由松（60才）、横尾貞美（58）、中富正義（61）、高尾保己（49）、築地喜久次（55）、松田弘道（46）、天本義人（41）、楠勇（58）、伊東光次（67）、寺崎八郎（59）、時津政吉（57）、本村松次（54）、西山栄造（70）、笠井定雄（74）

【市職員として在職20年以上で特に功労があった人】松田九一郎（57）権藤哲造（68）、平川孝俊（55）、羽立俊男（42）、今村春次（49）、牟田享（51）、楠田猛（48）、寺崎フミ子（45）、今村三千丈（43）、古沢義之（48）、高尾多留美（52）

【文化の振興に功績があった人】松田麟造（71）、中富文字（53）、江見製袋株式会社（江見多久一社長）姫方町（坂本種夫区長）

【用地を提供された人】森山銀八、吉山作之助、古賀末雄、横伝八、松隈寅吉、荒木九一、酒井儀平

【非常勤職員として功労があった人】西村秦蔵（72）、高尾秀二（57）、内田萬作（69）、横枕久次（45）

【区長として10年以上在職し特に功労があった人】松隈清吾（高田町区長）、大原幸男（田代昌町）、高尾直太（田代新町）、山内日吉（田代

誠実に生きた 西村ハルさん

西村ハルさん（61才、本町1丁目）は、その半生の誠実さが認められこのほど市政功労者に選ばれた。ハルさんは大正14年19才で結婚。夫長吉さんは、自転車の小売と修理をしていた。

ところが長吉さんは昭和20年不治の病に犯され同36年没。その間ハルさんは母ワキさんと養女の恵子さんをかかえて、家業に励みまた夫の看病に尽した。夫なきあとは、苦しい生活の中から、恵子さんに大学教育を受けさせ、母に



元気に働く西村さん

も孝養を尽した。恵子さんは現在、中原小学校教諭、母ワキさんは昨年夏98才でなくなったが、市内の最高齢者だった。

今は2人のお孫さんもあり幸せそうなハルさんである。

大宮町）、松尾勝次（田代本町）、岡本隆壽（萱方町）、内田清三郎（曾根崎町）、池田武久（江島町）

【その他】立石勝正（69）、吉田耕作（71）、故篠原久治、西村ハル（61）、故日山清司、松田安市（57）

お子さんを保育所へどうぞ

市福祉事務所は昭和42年4月1日から保育所に入所する幼児を次の要領で募集しております。早目に福祉事務所か希望する保育所に申請をしてください。引続いて通園される方も新しく申請をしてください。

☆保育所と幼稚園 はこう違います☆

保育所は母親がいない場合や、母親が勤めにでたり病気で家庭では十分な保育ができない時、家庭にかわ

って保護養育する施設です。しつけや教育だけを目的とする幼稚園とはちがいます。最低8時間の保育をし運動と休息を適切にとらせ、保健所とも緊密な連絡をして子供の健康状態に留意します。3才未満の子供には主食を含めた給食、3才以上には副食を主とした給食をします。また幼稚園該当の幼児には幼稚園教育もいたします。

園児を募集している保育所

※市立 白鳩園（曾根崎町・90名）小鳩園（本町3丁目・75名）、下野園（下野町・75名）、いずみ園（藤木町・75名）、鳥栖園（秋葉町1丁目・105名）

※私立 田代園（田代大宮町・120名）、めぐみ園（村田町・90名）、慈光園（山浦町・90名）

* *

謹 賀 新 年

桜

源

オ

ゲ